

理に適った伝統あるセラピーをもっと身近に

やわらかいセラピー

Vol. 7
2009.JUN



特集

姿勢と性格の関連性

～心理学的アプローチのススメ～

整骨院でできる健康指導

～“血液サラサラ”のススメ～

今、話題の整骨院

その現場に学ぶ!

小林整骨院(八尾市)、

鹿島槍ゲレンデ接骨院(大町市)ほか

interview

インタビュー

元バレーボール全日本代表・タレント

整骨院でできる健康指導

～“血液サラサラ”のススメ～

益子直美

その現場に学ぶ!

「鹿島槍ゲレンデ接骨院」に学ぶ

1シーズンに30名以上の骨折・脱臼患者を診るスキー場内の接骨院。



北アルプスのスキー&スノーボードのメッカとして名高い白馬エリア。なかでも大都市圏に最も近いサンアルピナ鹿島槍スキー場には、本部機能となる“セントラルプラザ1130”内に接骨院が置かれる。スノーボーダーの増加につれて、スキー場では骨折などのケガ人の対処に頭を悩ませているという。ここ「鹿島槍ゲレンデ接骨院」には、街の接骨院には

めったに訪れない骨折・脱臼患者が、1シーズンに30名以上も急患として訪れる。それらのケガの専門家である柔道整復師の、まさに真骨頂という接骨院だ。“ゲレンデ接骨院”という事業モデルに取り組む日本スキー場開発株式会社の向所和也取締役と、「鹿島槍ゲレンデ接骨院」の村上勇人院長に、開発の経緯や現場での苦勞を聞いた。

「スキー場に接骨院を設置するというモデルは珍しいと思えますが、ゲレンデ接骨院」というモデルはどのように開発されたのでしょうか？」

（向所取締役）「2年前、宿泊客向けの大浴場に併設するマッサージ施設をオープンさせたのですが、スキー場では骨折などの大ケガをされるお客様が多く、なんとか安心してご利用いただけないかと、昨シーズンに接骨院に業態を変えました。それまではケガ人はパトロール隊が対応し、骨折の疑いがあるような方は麓の病院まで救急車で搬送していただく。接骨院を設置してからは、その初期対応を専門家である先生にお願いできるので助かります。今シーズンは、設置場所をリラクゼーションコーナーからパトロール隊の基地に近いゲレンデ入口に移転し、よりケガの初期対応をスムーズにしました。ケガをされた方にはお気の毒ですが、前年よりもかなりご利用いただいているようです。」

「どのくらいの利用者がいらっしゃるのですか？」

（向所取締役）「まだシーズン半ですが、骨折・脱臼といった大ケガで利用される方がすでに20名以上になります。そのほかにも捻挫や打撲という症状の方がかなり来られるようです。骨折される方はほぼ経験の浅いスノーボーダーで、転倒時に手をついて骨折するケースが多いと聞きます。ここサンアルピナ鹿島槍スキー場には、首都圏から日帰りで来られるお客様もたくさん



サンアルピナ鹿島槍スキー場の本部となる“セントラルプラザ1130”のゲレンデに通じる入口。すぐ向かいにはパトロール隊の基地があり、この入口を入ってすぐ左手、無料休憩所手前に「鹿島槍ゲレンデ接骨院」がある。

